

— ごあいさつ —

「安心して心豊かに いきいき輝くまち」 をめざして

私たちのまち砂川市は、北海道のほぼ中央に位置し、恵まれた豊かで美しい自然環境のもと、先人のたゆまぬ努力と英知を礎に、中空知地域における産業や医療などが充実した中核都市として発展を遂げてきました。

その中で、本市は、昭和41年度からこれまで5期にわたる総合計画を策定し、その時々時代の背景や社会・経済情勢の変化に対応しながら総合的、計画的なまちづくりを進めてきました。

しかし、現代社会を取り巻く環境は大きく変化し続けており、少子高齢化や人口減少の進行、グローバル化の進展、地球環境問題の顕在化など、様々な課題に対応した、きめ細かな施策の展開が求められています。

こうした状況の中で、市民の皆様が将来に希望が持てるまちづくりを進めるため、「安心して心豊かに いきいき輝くまち」を新たなめざす都市像に掲げ、平成32年度までの10か年を期間とした「砂川市第6期総合計画」を策定いたしました。

本計画は、将来にわたって市民と行政が目標を共有しながら協働のまちづくりを進めていく指針となるよう、各施策に目標や基本事業とねらいを掲げるとともに、成果指標を設定し、誰もがまちづくりの進み具合がわかるようにしたところであります。

今後は、市民一人ひとりがまちを愛し続け、「このまちに住みたい、住み続けたい」と思うことができるまちの実現に向け、共に力を合わせて取り組んでまいりたいと存じますので、皆様のご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心にご審議をいただきました総合計画審議会委員及び市議会議員の皆様をはじめ、市民懇談会、意識調査、子どもワークショップなど、様々なかたちでご参加いただき、貴重なご意見やご提言をいただきました多くの市民の皆様から感謝申し上げます。

平成23年3月 砂川市長
菊谷 勝利

Sunagawa City

総合計画の策定にあたって

総合計画とは

総合計画は、本市が10年後に目指す都市像(将来像)を示し、その実現に向けたまちづくりの基本目標などを総合的、体系的にまとめた、各種行政計画の最も上位に位置づけられる長期計画で、市政の基本となる計画です。

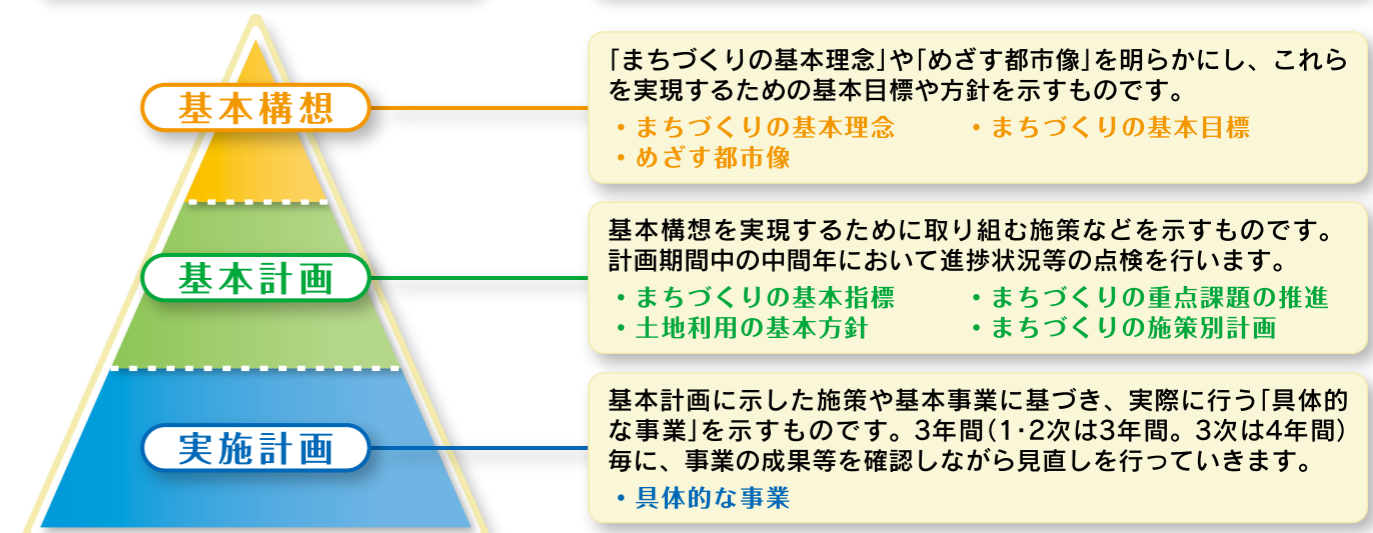
計画の構成と期間

構成 … 総合計画は、『基本構想』、『基本計画』、『実施計画』で構成しています。

期間 … 計画期間は、平成23年度から平成32年度までの10年間です。

砂川市第6期総合計画

砂川市の最上位計画



計画の特徴

新しい総合計画は、将来にわたって市民と行政が共有し続け、まちづくりの指針となることが大切であることから、次の4つの基本的な考え方に基づいて策定しています。

①市民との協働による計画

総合計画審議会での議論や市民意見の反映機会を設け、市民と行政が一体となり、情報を共有し合い、意見交換を行いながら策定しました。

②わかりやすい計画

市民とまちづくりの目標を共有しながら協働のまちづくりを進めるため、各施策において、「目標」や「基本事業とねらい」など、本市がどのようなことを目指しているのかを明記しました。

③「成果指標」を表した計画

各施策にまちづくりの「ものさし」となる「成果指標」を設定し、計画に掲げたまちの姿にどのくらい近づいたか、また、各事業の取り組みがどのように貢献したかを計ることができるようにしました。

④社会経済状況を考えた計画

人口減少や税収の減少など、地方自治体を取り巻く環境が変化する中において、地域の活性化につながる計画とするため、今後の財政見通しや社会経済状況などを勘案しました。

砂川市 第6期 総合計画

時代の潮流

我が国を取り巻く社会・経済情勢は大きく変化しています。

1 少子高齢化と人口減少の進行

我が国では、少子化が急速に進行し、総人口も減少を続けています。総合計画の中間年にあたる平成27年(2015年)には、総人口の約27%が65歳以上という「超高齢社会」になることが予測されています。

2 グローバル(世界的規模)化の進展と経済環境の変化

交通・情報通信手段の飛躍的な発達により、日常生活から産業活動に至る、あらゆる面において、世界各国との相互関係が生まれてきています。

3 環境問題への意識の高まり

地球温暖化など地球的規模での環境問題が深刻化しているため、地球環境問題に歯止めをかけ、次世代に良好な環境を引き継ぐための取り組みが進められています。

4 価値観やライフスタイルの多様化

人々のライフスタイルが多様化する中で、個性や創造性が尊重されるようになり、自由な選択と主体的な行動のもとで、様々な活動が活発化してきています。

5 安全・安心に対する意識の高まり

大地震や集中豪雨による自然災害からの安全性の確保に対する人々の意識が急速に高まっています。また、犯罪や事故のない社会づくり、健康で安心して暮らせる社会づくりが強く求められています。

6 高度情報化の進展

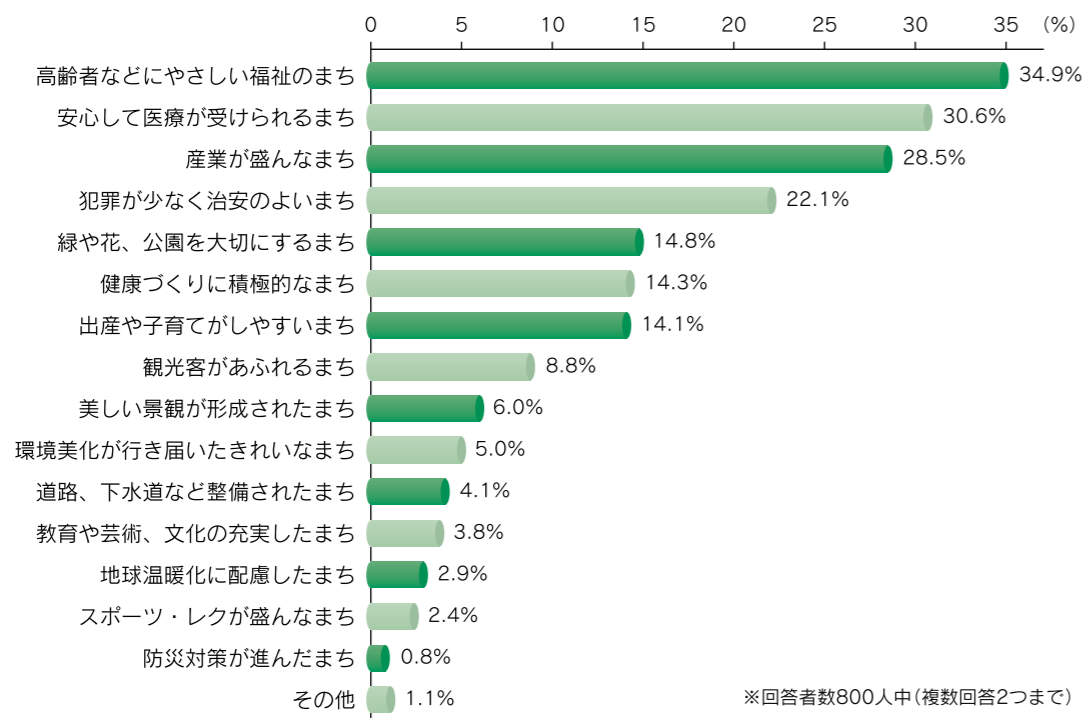
情報通信技術の飛躍的な進歩により、日常生活や企業活動、行政サービスなど、様々な分野において、情報を容易に収集し、発信することが可能となっています。

7 地域主権の進展と厳しい財政運営

これからの地方自治体には、住民の参画と協働を基本に、自らのまちの未来を自らで決め、自ら行動していくことが強く求められます。

砂川市の将来像について ~市民アンケート調査から~

市民の皆さんが、将来、砂川市がどんなまちになることを望んでいるのかを伺いました。



このような時代背景や市民の皆さんの意向を踏まえつつ、砂川市の恵まれた豊かで美しい自然環境を守り、そして、活かし、次の世代を展望した、新しい時代のまちづくりを進めていくための『砂川市第6期総合計画』を策定しました。

基本構想

まちづくりの基本理念

まちづくりの主役は市民です。「まち」は、人々が日々生活する場であり、まちの主人公は、そこに暮らす市民です。「まちづくり」は、そこで暮らす人々の視点に立って、その主体的な取り組みを基本として進めます。

砂川市第6期総合計画では、砂川市の風土、歴史、文化、産業などを再認識するとともに、新しい時代に向けてこれを活かし、人とまち、健康、福祉、環境を大切に、心豊かな人々を育み、安全で安心して暮らせる元気で活力ある砂川市を目指してまちづくりを進めます。

めざす都市像

安心して心豊かに いきいき輝くまち

◆◆◆ ことばに込められた思い ◆◆◆

安心 緑豊かな恵まれた自然環境と医療・福祉などが充実した良好な生活環境の中で、子どもからお年寄りまで、市民一人ひとりがやさしさに包まれ、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

心豊か 市民と行政の協働は、人と人の支え合いが原点です。人づくりや地域づくり、充実した教育・文化環境などが育まれた中で、やさしい心の通った、心豊かなまちを目指します。

いきいき 積極的な行動力により、地域産業の活力を生み出すとともに、市民が生きがいを持ち、明るく元気な笑顔があふれる、いきいきとしたまちを目指します。

輝くまち 『安心』、『心豊か』、『いきいき』が結びついて、将来へ向かってチャレンジしながら可能性を伸ばし続け、人や地域が希望を持って輝くまちを目指します。

まちづくりの基本目標

めざす都市像の実現に向け、分野ごとに6つのまちづくりの基本目標を設定するとともに、基本目標の推進にあたって、まちづくりに共通する3つの考えを掲げました。

